

モットー

いつでも 誰でも 安心してかかる病院

2009

あなたに贈る健康へのメッセージ——知ってください病院のこと、身体のこと

医科大どおり

春

第 15 巻

第 1 号



金沢医科大学病院

病院の理念

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します

- 患者さま中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。

最新
Topics

内視鏡科



内視鏡科
教授 伊藤 透

内視鏡科は、食道、胃、胆道、大腸などの消化管において消化器内視鏡で行える診断・治療を行う科です。

平成19年4月1日に当病院として30番目の臨床科として開設されました。全国の大学病院本院で、専従の専門医を配置し、入院ベッドを持つのは当院を含めて2大学しかありません。

当科は、第一に専門医が行う消化管疾患のより高度な内視鏡診断・治療、第二に当病院が推進いたしております健康診断の上部・下部消化管内視鏡検査、第三に病院のみならず地域の開業医の皆様からの上部・下部消化管内視鏡検査などのご依頼の迅速な対応が重要な仕事と位置付けております。

特に当科では早期消化器癌の診断・治療においては精通しております。科長の伊藤 透は20年間に及ぶ消化器内視鏡・診断の経歴を持ち、早期胃癌の内視鏡治療は500例を越える治療経験を持っております。早期胃癌に例えれば、転移を起こさない胃粘膜表層に局限している内視鏡治療可能な病変と診断され安全に治療が終われば、外科的に開腹して、胃の3分の1切除された状況に比べれば体に優しいばかりでなく、経済的にも優しくすることが可能です。ご提示した患者さまの一例では、胃の前庭部(胃の出口の方)、前壁に位置する大きさ60mm大のIIa病変(表面隆起型)ですが、粘膜内にあると診断できたため内視鏡的に切除可能でした。この方法は、現在最新の治療法でESD(粘膜下層剥離法)といい大変良い方法ですが、手技の熟練に時間がかかり、かつやや危険な方法(穿孔—胃壁に孔が開く、出血などの合併症がある)で施行時間も長い傾向があります。またすべての方に適応があるわけではなく、早期胃癌の約30%程度で、大きさ、組織型など絶対的適応基準があります。

当科、浦島講師は肝胆膵疾患の専門で、胆道系腫瘍のステント挿入や、総胆管結石除去、消化器癌の狭窄状態のステント挿入などに全国レベルの屈指の医療技術を持っております。

また、国立がんセンター東病院での研修を修了した川浦医師は、科長と同じ領域で日々診断・治療技術レベルを向上させています。本年、4月より初期臨床研修を終えた濱田医師が入局しより臨床が充実されてまいりました。

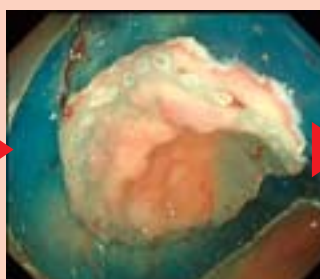
早期消化器癌、総胆管結石などの良性疾患いずれの状況においてもご相談、治療のご希望があればお気軽に当科までご相談下さる様お願い致します。



①治療前



②マーキング



③切開剥離



④治療後

この①～④の流れをESD(粘膜下層剥離法)といいます

がん克服シリーズ①

胃がん



一般・消化器外科
教授 小坂 健夫

1 胃がんの数はいくつ？

全国では、毎年新たに約10万人が胃がんと診断され、約5万人が胃がんで亡くなっているといわれます。石川県では、約1,000人が胃がんと診断され、500人以上が胃がんで亡くなっています。

2 胃がんは予防できる？

『タバコを吸うこと』、『食塩のとりすぎ』、『ピロリ菌感染』などが胃がんにかかりやすくすると考えられています。タバコを吸うことや食塩のとりすぎは他の病気とも関係がありますから、できるだけ避けましょう。

3 胃がんの症状は？

金沢医科大学病院で手術を受けた約250人の症状を調べると、約25%が症状なしで、『胃がん検診』が『たまたま発見された』がほとんどでした。症状があった方では、多かった順に、お腹の痛み35%、食欲がない22%、吐く11%、貧血10%、体重の減少9%などでした。

4 胃がん検診とは？

胃がんの検診は、『レントゲン検査』、『ペプシノーゲン検査』、『内視鏡検査』などがあります。最も多いレントゲン検査での胃がん発見率は約1,000人に1人（0.1%）です。これは高齢であるほど高く、男性は女性より高く、さらに地域差があります。

5 検診で見つかったら治りやすい？

石川県によると、一般の外来受診で見つかった胃がんの生存率が54%だったのに対し、検診で発見された場合は83%でした。検診では早期がんが多く見つかるためです。

6 胃がんを治すには？

早期胃がんの多くは『内視鏡治療』で切り取ることができるようになりました。一方手術では、最近、体にやさしい『腹腔鏡下手術』ができるようになっていきます。詳しくは専門医にご相談下さい。



早期胃がん



進行胃がん

性差医療・女性医療 について

性差医療とは、女性に多い疾患や生物学的・社会的性差を考慮した医療改革のことです。これまで女性の身体は、子宮や乳房以外は男性と同じと考えられてきました。しかし、男性と女性では、ホルモンの変動や性差で違う疾患、心のあり方も異なっています。又、生理機能や加齢による変化は、男女間で差があることが明らかになっています。女性に多い疾患は具体的に、乳腺・甲状腺・卵巣などの内分泌疾患、膠原病などの免疫疾患、アルツハイマー型認知症、骨粗しょう症、自律神経失調症などが挙げられます。

女性は、妊娠を契機に母体内に胎児の細胞が残ることが知られており、免疫などにも関与していることが知られています。一方、男性の場合は前立腺疾患や癌、ED(勃起不全)、うつ病による自殺が多いことなどが知られています。現在、性差医療においては、男性と女性の臓器やホルモン、社会的地位の違いなども考慮して、治療や予防に生かしていこうとしています。

性差医療のバックボーンとして臨床の実践を行うところが女性外来でしたが、今年度より女性の健康を応援しようという本学病院の方針で、女性医師や女性に理解のある男性医師の援助を得て、女性が受診しやすい環境を考慮した、21世紀集学的医療センター内に女性総合医療センターが4月にできました。実際の診療体制が稼動するのは6月で、これまでの女性外来と同様に完全予約制です。

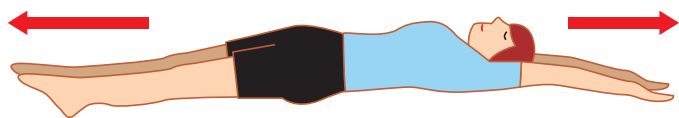
まずは、女性総合医療センターへお電話をいただき、看護師と来院日時などの相談をさせていただくこととなります。問診事項が沢山ありますがご了承ください。採血などでホルモン検査もできますし、さまざまな画像診断、たとえば、マンモグラフィー、エコーやMRIなどの検査を組み合わせることも可能です。多様化した現代女性のライフスタイルや年齢、性差と生活習慣、遺伝のリスクなどを考慮して集学的に検査・治療などを進めていきます。



(記:21世紀集学的医療センター生活習慣病・女性総合医療センター 赤澤純代)

家庭でできるストレッチ

寝つきを良くするストレッチ



- ① 布団の上に両脚、両手を伸ばして上向きに寝ます。
- ② ゆっくりと少し大きめの呼吸をします。
- ③ 息を吐きながら、足先から指先まで徐々に伸ばします。
- ④ 息を吐き終わるまで伸ばし続けます。
- ⑤ 息を吐き終わったら力を抜いてリラックスします。
- ⑥ ②へ戻り、ゆっくり大きめの呼吸を2回行います。
- ⑦ ③以降の動作を5回繰り返したら、目を閉じ眠りの姿勢に入ってください。

(記: 体育学 田村暢熙)

運動教室のご案内

開催日 ■ 月に2回(土曜日)

時間 ■ 午前11時(約40分)

場所 ■ 病院新館 12階大会議室

参加費 ■ 無料

参加資格 ■ どなたでも

(運動できる服装でお願いいたします)

当院では、一般の方を対象とした運動教室を開催しています。
お問い合わせは病院 21 世紀集学的医療センター
事務課(内線番号 5234)まで。

お知らせ

別館のリニューアル

去年7月より別館の改修工事を行い、今年の4月に内装を一新して完成しました。1・2階は外来部門で1階は救急医療センターと時間外受付、2階は神経科精神科外来、3～6階には病棟、7・8階は健康管理センター(人間ドック)が配置されています。別館の東側からは、河北潟の壮大な景色を一望でき、天候の良い日は美しい白山連邦の景色を伺えます。(巻末の『私の好きな風景』を参照)



別館の構成

8階(病棟)	○特別病室 ○健康管理センター
7階(病棟)	○健康管理センター
(外来)	○21世紀集学的医療センター(健康管理センター)
6階(病棟)	○回復期リハビリテーション病棟
5階(病棟)	○形成外科 ○救急医学科 ○心身医学科
4階(病棟)	○高齢医学科 ○皮膚科 ○歯科口腔科 ○睡眠障害センター
3階(病棟)	○精神医学科(神経科精神科)
2階(外来)	○精神医学科(神経科精神科) ○心理検査室 ○脳波室
1階(外来)	○救急医療センター(救命救急科) ○時間外受付



花粉症について

花粉やハウスダストといった抗原によるアレルギー性鼻炎は実に3人に一人が発症している状況です。中でもスギ花粉症は4人に一人は発症しているといわれております。一度かかると毎年やってくる憂うつな「厄介者」と上手に付き合うためにはどのようにしたらよいのでしょうか。

主な症状はくしゃみ、水様性鼻汁、鼻閉です。花粉などの抗原によって誘発された鼻粘膜のアレルギー反応がこれらの症状を引き起こします。診断には鼻汁好酸球検査、皮膚テスト、誘発テストなどを行います。治療には症状の重症度に応じて主に内服薬や点鼻薬といった薬物療法をはじめ、手術などを組み合わせて行います。特に花粉症の原因となる主だった抗原と飛散シーズンはスギ、ヒノキ科は2～5月、イネ科は4～10月、ブタクサ、ヨモギは8～11月で、抗原があらかじめ分かっている場合は、これらの花粉飛散シーズンの2週間前から予防的に治療を行う初期療法も推奨されています。

更に生活上の工夫も有効です。特にスギ花粉は最近メディアによる飛散予報も充実しており、外出を控えた花粉回避も有効です。いわゆる花粉グッズとしてのマスクやめがねの有用性も示されております。一度外出した方は室内への花粉持込を減らすために花粉の付着した上着などを玄関において室内への花粉を入れないこと、帰宅時はうがいや手洗いを行うこと、洗濯物や布団は外に干さないことや空気清浄機の活用なども有効です。また周囲の方のご理解、ご協力も必要です。自分は花粉症ではない方も、無関心にならず花粉症の方がいる場合の配慮もしていただくようお願いします。

海に近い内灘町も風向によってスギ花粉が多く飛散することが分かっています。当院では内灘町と共同で内灘町が設置した風力発電機のデータをもとに花粉飛散数を予想する研究を行っています。

(記：耳鼻咽喉・頭頸科 下出祐造、北村みわ)

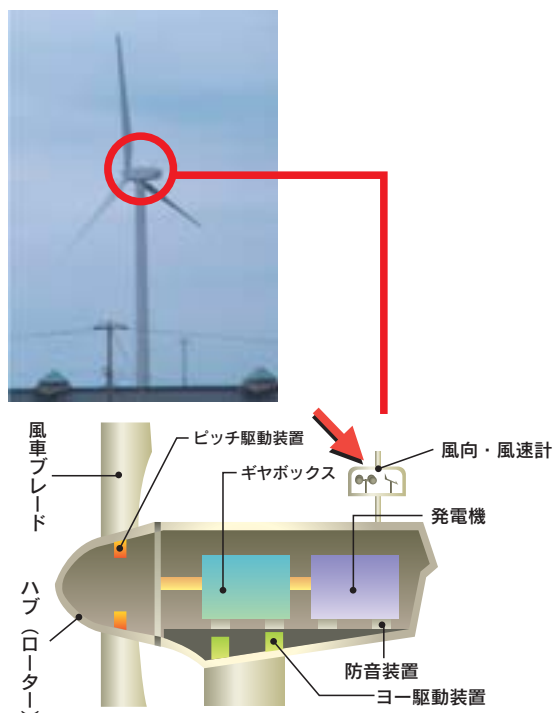


図1 風力発電機

内灘近辺の海浜地区

最高気温10度以上で雨以外の天候、更に直前天気予報で以下風向きの際に飛散数に差が出る傾向が見られております。

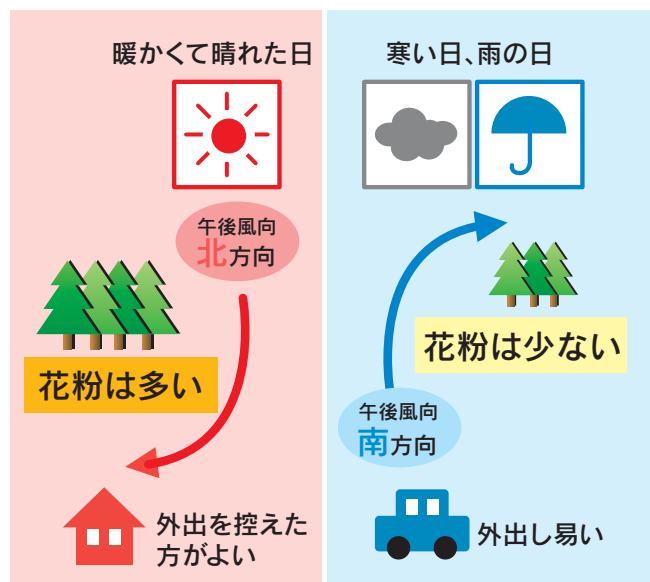


図2 飛散数の傾向

アンチエイジング

最近、テレビや雑誌等で見かけることが多いアンチエイジングとは、老化防止の意味があります。それでは、老化の原因は何でしょうか。また、老化防止のためにはどうすれば良いのでしょうか。人は誰しも、いつまでも若々しくありたいと願うものです。アンチエイジングについて、シリーズで考えて見ましょう。

■老化の原因は活性酸素！

老化の原因は全て解明されているわけではありませんが、遺伝的な要因のほか、体内で活性酸素の作用で生じる有害な過酸化物が蓄えられることにより、老化を進行させることがわかってきています。呼吸で取り込んだ酸素のうち約2%は、食物として取り入れた糖質や脂質、たんぱく質からエネルギーがつくられる過程で活性酸素になります。私たちが生きていくうえでなくてはならない酸素ですが、反面、金属が酸化してさびるように、私たちの体もさびつかせ、老化を進めるわけです。

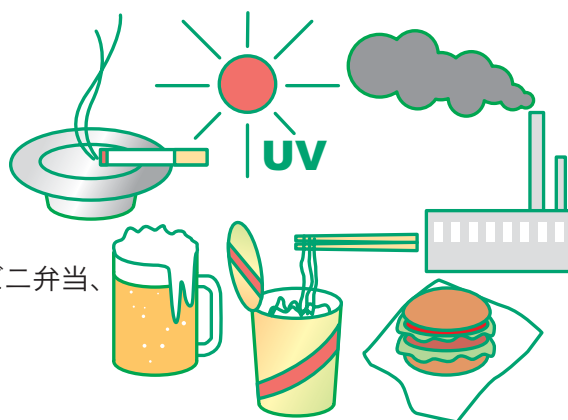
■活性酸素は生活習慣病を招く！

活性酸素は、細胞、遺伝子、血管を傷つけ、全身の酸化を招くといわれています。このため、活性酸素は、老化を促進し、がんや動脈硬化などの生活習慣病を引き起こす要因になると考えられています。

■活性酸素を招く生活習慣とは？

活性酸素を招く生活習慣としては、タバコ、仕事のストレス、大量のアルコール、紫外線、排気ガス、農薬、食品添加物などが挙げられます。つまり、現代社会は活性酸素を発生させる原因であふれているわけです。そのため、以下のような生活環境を見直すことが、アンチエイジング対策につながります。

- タバコを吸う。
- アルコール飲料を多量に飲む。
- 外回りの仕事が多く、日に焼けやすい。
- 仕事などのストレスが多い。
- 食事は外食が多い。(ファーストフードやコンビニ弁当、インスタント食品の利用が多い。)
- 空気のよくないところに住んでいる。



また、アンチエイジングのためには、活性酸素の害から体を守る食品をとることが大切です。次号では、活性酸素を消去する作用のある食品についてお話しします。

(記：栄養部 木村律子)

はじめてまして



よしだ 吉田さん

おとうさん
健一さん
おかあさん
朋子さん
赤ちゃん
成(なる)ちゃん
平成21年2月8日生
3,282g 男の子

はじめての妊娠、出産はいろいろとトラブルもありましたが、生まれてきた子供の顔を見るとすべて忘れてしまいました。我が子を抱く重みは親としての責任の重さを感じ、少し不安はありますが、今はそれ以上の幸せを実感しています。人生の中で何度かしかできない貴重な体験を無事に終えることができ、立ち会ってくださった先生、スタッフの皆様本当に感謝しています。ありがとうございました。

私の好きな風景



空気の澄んだ晴天の日、病院別館の屋上から河北潟の遠方に北アルプスの山々を眺められます。個々の山の名称は一部しか分かりませんが、過去に自分が登山した事のある山は、四季を通じて関心をもって眺めます。

(撮影:中谷 渉)

編集後記

去年より未曾有の経済危機が日本を襲っています。派遣村では、その煽りを受けた人々が列をなしています。今年もまた、暖かな風が吹き、季節を彩る花々が一斉に咲き誇る春がやってきました。若い新入職員の羞じかんだ、それでいてちょっと誇らしげな姿をあちこちで見受けられます。仕事や人員の削減により失業率も上昇している中、獲得したこの仕事を大切にしてくださいとエールを贈りたい。半年も経たないうちに精悍な引き締まった顔立ちに変化していることを期待しています。

澄風

院内にご意見箱を設置しております。
みなさまの「声」をお聞かせください。



病院運営の基本方針

1. 患者さま中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さま・ご家族への“説明と同意”を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さまの権利

当院は、医療の中心は患者さまであると認識し、患者さまには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

患者さまへのお願い

当院は、大学病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さまには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さまの迷惑にならないようご配慮ください。
- 当院は教育・研修施設として医学生・看護学生等の臨床教育実習を行っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。